

若者の雇用定着 管内3社に認定

若者の雇用や育成、職場への定着に積極的に取り組む中小企業を厚生労働相が認定する「ユース

エール認定企業」に、平田建設(札幌)、東和工研



ユースエール認定企業となった十勝管内3社の代表と帯広公共職業安定所の蒔田真也所長(左)

(帯広)、栗林建設(帯広)の3社が選ばれた。これまで認定を受けた管内の企業は12社となった。

3社は入社後3年間の離職率が2割以下など12項目の認定条件を全て満たした。

平田建設は農業高校や工業高校を対象に学校説明会などを開催し、若い世代の採用に力を入れる。東和工研は社内全部門で働き方改革を進め、従業員の残業時間を削減した。栗林建設は、現場の事務作業を担う建設ディレクターを雇用し業務を効率化させた。

認定通知書の交付式は9日、帯広公共職業安定所で行った。東和工研の田中雅人社長は「認定を取って終わりではなく、スタートとして、人材確保だけでなく定着につ

いても考えていきたい」と述べた。(芳賀万葉)